

特集



10年先、20年先を見据え  
環境との共生を追求。



「10年先、20年先に役立つ人材の育成」という教育方針のもと、1905年に創立した愛知淑徳学園。いつの時代も先取の精神を貫き、未来に向けた新しい教育を實踐して、中学・高校、大学を擁する学び舎として発展し続けています。1995年には「共生」の重要性にいち早く着目し、愛知淑徳大学の男女共学化を果たすとともに、新たな理念「違いを共に生きる」を掲げました。さまざまな人、さまざまな命が共に生きる豊かな社会や環境を、いかに明日へとつないでいくのか—現代を生きる私たちに、問いを投げかけています。それから20年、愛知淑徳学園創立110周年を迎えた2015年度、中学・高校、大学の学部などが主体となり、「環境」や「エコ」を融合させたテーマで記念行事を開催しました。講演会、体験セミナー、音楽人形劇、パネルディスカッションなど、多彩な形式・表現手法、多様な切り口で環境問題にアプローチし、すべての命が共に生きられる未来を見据え、一人ひとりが考えを深め行動を起こす力を養いました。ここでは、各行事の内容をダイジェストでご紹介します。

# 愛知淑徳学園 創立110周年記念行事レポート

## 人間情報学部



講演会「バンコクでの  
サステナブルモビリティの取組み」

11/11(水)

「タイの渋滞緩和」のためのプロジェクトに携わるToyota Motor Thailandの岡山豊氏が登壇し、持続的な社会の実現にも貢献する「新たな交通システム」の可能性について語られました。

## メディアプロデュース学部



講演会「風景の再構成にむけて」  
Passive Architecture & Active Landscape with Nature

11/23  
(月・祝)

「風景をデザインする」ランドスケープデザイナー・田瀬理夫氏が、自然と共生する空間設計について講演。人の営みと環境保全を両立する建築や街づくりの重要性を示唆しました。

## 福祉貢献学部



講話・劇団かかし座影絵「長靴をはいたねこ」公演  
光と影の遊びの継承～自然環境と暮らしを見つめ直す～

10/17(土)

地域の親子を招待し、手影絵ショー、手影絵体験などを開催。昔ながらの遊びである影絵を通し、持続可能な発展のための教育の一環として「自然環境の大切さ」を印象的に伝えました。

## 文学部



NPO《地球のステージ》公演

10/16(金)

NPO法人地球のステージ代表理事・桑山紀彦氏が講演。世界各国を訪れ、戦争や災害の被害にあった人々の心のケアに従事してきた経験を語り、歌や映像を交えて「命の尊さ」を伝えました。

## 心理学部



考えてみよう「人・社会・環境」  
～高校生のための心理学セミナー～

12/5(土)

社会心理学でよく用いられる「囚人のジレンマゲーム」を応用したグループワークを高校生が実践。日常生活において、人や社会、地球環境に配慮する行動の大切さを学ぶ場となりました。

## 健康医療科学部



講演会「世界の子どもの健康と環境を考える」&  
チャリティーコンサート「人魚姫」

11/1(日)

第1部ではセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの藤野康之氏が発展途上国の子どもたちの健康について講演。第2部では「地球の健康」をテーマに管弦楽の演奏や人形劇が上演されました。

## ビジネス学部・ビジネス研究科



講演会「睡眠研究最前線  
—ワークライフバランス社会をめざして—」 12/7(月)

名古屋大学環境医学研究所の山中章弘教授が、「睡眠」の謎に迫る研究成果を報告。質の高い睡眠を通して体内環境を整え、豊かな毎日を送ることの重要性が語られました。

## 交流文化学部



講演会「青い目をした台風娘・セーラが淑徳にやってきた！  
サステナブルな地域循環型社会に向けての実践」 11/18(水)

講師は、長野県でさまざまな町おこしプロジェクトに携わるセーラ・マリ・カミングス氏。日本の伝統文化や美しい風景、昔ながらの暮らしの価値を再認識する時間となりました。

## 教育学研究科



ながくて  
サイエンス  
フェスティバル 1/23(土)

小中学生を対象に、科学のワークショップを開催。五感をフル活用して楽しく学べる実験や工作などにより、子どもたちも環境やエコの大切さを実感しました。

## 文化創造研究科



連続講演会「文化創造と環境・エコ」 7/25(土)

国文学、図書館情報学、都市環境デザインなど各専門領域の教授5人が多様な角度から環境・エコにアプローチ。環境問題に対する柔軟な思考や行動を促す講演が行われました。

## グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科



シンポジウム「大学とNGOとの  
パートナーシップ形成の可能性」 12/9(水)

NPO法人ムラのミライの竹内ゆみ子氏、オイスカ中部日本研修センターの小杉裕一郎氏、名古屋NGOセンターの西井和裕氏をお招きし、国際協力活動の輪を広げるための議論を深めました。

## 心理医療科学研究科



ヒトツバタゴ記念植樹 2月中旬

長久手市との共催で、大学キャンパス隣にある「片平二丁目公園」の一画に、ヒトツバタゴの植樹を企画。人間のライフ(生活と人生のいのち)を大切に育てる研究を基軸として教育や地域貢献を展開する、研究科の志が形となって残されます。

## 「エコピール整備事業」

愛知淑徳学園創立110周年の記念事業として「エコピール整備事業」を実施しました。長久手・星が丘両キャンパスの正門まわりや中学・高校正門前広場にソーラーLED照明を設置するなど、キャンパスを訪れる人に「エコ」を感じさせる景観を生み出しています。

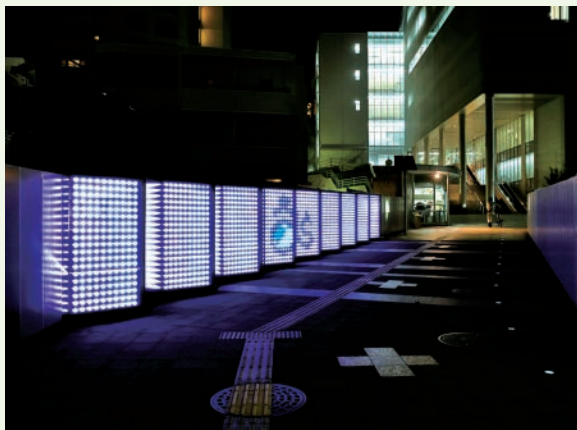
### ▶ 長久手キャンパス



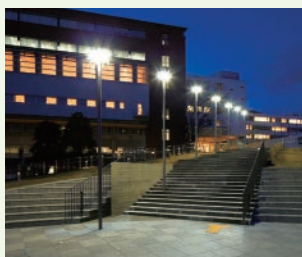
正門前広場に蓄光材舗装やソーラーLED照明、フルカラーのLEDメディアボードを設置し、「エコキャンパス」としての景観を演出。はッピー広場には太陽光発電を備えたエコパーゴラを整備し、ステージイベントを設備面から支えます。



### ▶ 星が丘キャンパス



正門前アプローチの側面に、太陽光発電シースルーガラスとフルカラーのLEDメディアボード、ソーラーLED照明を設置し、「エコキャンパス」としての景観を演出。



## コミュニティ・コラボレーションセンター(CCC)



「コラボメッセ — 地域とともに改めて歩む —」 10/10(土)

地域貢献活動に励む学生、行政機関、企業、NPOなどが一堂に会し、各団体の取り組み報告、グループワーク、交流会などを開催。参加者は互いに刺激し合い、活動への意欲を高めました。

## 中学校



池田香代子氏講演会  
「100人の村 あなたもここに生きています」 12/16(水)

ドイツ文学翻訳家・池田香代子氏は著書『世界がもし100人の村だったら』の朗読、発展途上国の教育などに関する講演を行い、自分の信念に従って行動できる人生の尊さを語られました。

## 高等学校



姜尚中氏講演会「心の力」 11/19(木)

作家・姜尚中氏は夏目漱石の作品や人生観を題材に、「自己意識」「コンプレックス」「自由」などについて講演。現代を力強く生き抜くためのヒントを生徒たちに伝えてくださいました。